

潤滑油せん断安定度試験方法

(2015年3月27日追補)

この追補は、2006年4月28日に改訂された“潤滑油せん断安定度試験方法”2006年版の追補である。したがって、今後、JPI-5S-29-2006とは、この追補を含むものとする。

なお、この追補は該当箇所のみを示す。2015年3月27日の追補は次の3箇所である。

追補 1

1. 適用範囲 備考より

A STM D3945 Test Method for Shear Stability of Polymer-containing Fluid Using a Diesel Injector Nozzle

下線部を、削除する。

追補 2

3.2.3 標準油 b)標準油 RL34 より

備考 RL34 は、ASTM D3945 及び D6278 に規定するもの。

下線部を、削除する。

追補 3

3.2.3 標準油に

c) 標準油 RL233 装置が適切に機能するために用いる。

備考 RL233 は、ASTM D6278 に規定するもの。

下線部を、追加する。

追補 4

3.2.4 試験の準備 a) 装置の校正より

2) 標準油 RL34 または RL233 を用いて、30 サイクル規定通りに試験を実施し、100℃の動粘度が 2.50～3.20 mm²/s の低下があることを確認する。

下線部を、追加する。

追補-2015 の解説

追補 1, 追補 2 について

ディーゼルインジェクター法の引用規格である ASTM D3945 が廃止となり、代わりに ASTM D6278 に変更されているため、ASTM D3945 を削除した。

追補 3, 追補 4 について

標準油 RL34 の入手性が悪化しているため、ASTM D6278-07 (2007年12月1日承認, 2008年1月発行) において標準油 RL34 の代替の標準油として規定された標準油 RL233 を本試験方法の標準油として追加した。

潤滑油せん断安定度試験方法審議会
構 成 表

製 品 部 会
(部会長)
潤滑油分科会
(委員長)

委員 10 名 (所属, 氏名略)

松 岡 徹 JX 日鉱日石エネルギー株式会社

委員 6 名

竹 島 茂 樹 JX 日鉱日石エネルギー株式会社

宇 高 俊 匡 出光興産株式会社

田 谷 隆 裕 コスモ石油ルブリカンツ株式会社

岩 井 雄 俊 一般社団法人潤滑油協会

羽生田 清 志 昭和シェル石油株式会社

加 藤 智 浩 東燃ゼネラル石油株式会社

(事務局)

青 山 竜 公益社団法人石油学会